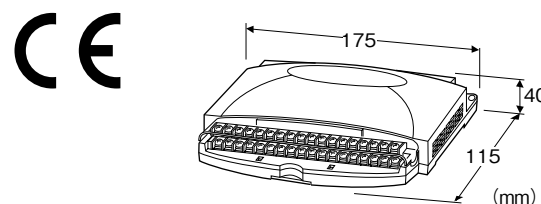


R1M シリーズ

仕様書	PC レコーダ	形式 R1M - J3
------------	----------------	-----------------------

形式	
形式	R1M - J3T - <input type="checkbox"/> / MSR
入出力部	J3 : 測温抵抗体・ポテンシオメータ 8 点入力
端子形状	T : M3 ねじ端子
供給電源	
◆交流電源	加算価格
M2 : AC 100 ~ 240 V	+ 0 円
BR2 : AC 100 V (AC アダプタ付)	+ 8,000 円
◆直流電源	
R : DC 24 V	+ 0 円
付加コード	
PC レコーダソフト	
/ MSR : 付き	

基本価格 120,000 円



主な機能と特長

- パソコンを用いた工業用記録計
- PC レコーダソフトウェア付

アプリケーション例

- 収集・記録されたデータを EXCEL に取込み、データ解析として表形式、グラフ形式にて表示

通信仕様
伝送速度: 38.4 kbps
通信方式: 半二重非同期式無手順
制御手順: Modbus-RTU

ご注文時指定事項
・形式コード (例: R1M - J3T - M2 / MSR)

関連機器
・ USB シリアル変換アダプタ (形式: USB - RSAQ <input type="checkbox"/> アイ・オー・データ機器製)

付属品
・ 9 ピン、D サブストレートケーブル (1 m)
・ PC レコーダソフトウェア CD (1 枚)
・ AC アダプタ (BR2 電源時のみ)

機器仕様
接続方式
・電源・通信部: コネクタ形端子台
・RS-232-C: 9 ピン、D サブコネクタ (オス形)
・入出力部: M3 ねじ端子接続
アイソレーション: 入力ー RS-232-C・RS-485 ー電源間
アドレス設定: ロータリスイッチにより 1 ~ F まで 15 台分設定可能
RUN 表示ランプ: 緑色 LED、正常時点滅

■ RS-232-C 部
通信規格: EIA RS-232-C 準拠
伝送距離: 10 m 以下

■ RS-485 部
通信規格: EIA RS-485 準拠
伝送距離: 500 m 以下
伝送ケーブル: シールド付より対線 (CPEV-S 0.9 φ)

入出力仕様
入力信号: 測温抵抗体・ポテンシオメータ、8 点
許容導線抵抗: 1 線あたり 20 Ω 以下
入力検出電流: 1 mA 以下
測温抵抗体: JPt 100 (JIS' 89)、Pt 100 (JIS' 89)、Pt 100 (JIS' 97、IEC)、Pt 50 (JIS' 81)、Ni 508.4、Pt 1000
ポテンシオメータの種類: 0 ~ 100 Ω、0 ~ 500 Ω、0 ~ 1 k Ω、0 ~ 10 k Ω
サンプリング周期: 100 ms / 8 点
トリガ入力: 無電圧接点入力 (検出レベル 1.5 V 以下で ON)
印加電圧: 約 DC 5 V、1 mA

設置仕様

供給電源

- ・交流電源: 許容電圧範囲 M2 : AC 85 ~ 264 V
BR2 : AC 100 V
47 ~ 66 Hz 約 10 VA
- ・直流電源: 許容電圧範囲 DC 24 V ± 10 %
リップル含有率 10 %p-p 以下 約 7 W

使用温度範囲: -5 ~ +60°C

使用湿度範囲: 30 ~ 90 % RH (結露しないこと)

- 取付: 壁表面取付または DIN レール取付
- 寸法: W 175 × H 115 × D 40 mm
- 質量: 約 400 g

性能 (測定レンジに対する % で表示)

基準精度

- ・ポテンシオメータ: ± 0.3 %
- ・測温抵抗体

測温抵抗体	測定範囲	基準精度
JPt 100 (JIS '89)	-200 ~ +500 (°C)	± 0.2 (%)
Pt 100 (JIS '89)	-200 ~ +660	± 0.2
Pt 100 (JIS '97, IEC)	-200 ~ +850	± 0.2
Pt 50 Ω (JIS '81)	-200 ~ +649	± 0.3
Ni 508.4 Ω	-50 ~ +280	± 0.3
Pt 1000	-200 ~ +850	± 0.2

温度係数: ± 0.015 %/°C

絶縁抵抗: 入力 - RS-232-C · RS-485 - 電源間
100 M Ω 以上 / DC 500 V

耐電圧: 入力 - RS-232-C · RS-485 - 電源 - 大地間
AC 2000 V 1 分間

付属 PC レコーダソフト

- ・PC レコーダソフト総合支援パッケージ (形式: MSRPAC - 2008) が付属します。
- ・MSRPAC - 2008 の内容および PC レコーダソフトに必要なシステム (お客様ご用意) については、MSRPAC - 2008 仕様書をご参照下さい。

適合規格

適合 EC 指令: 電磁両立性指令 (EMC 指令)
(2004 / 108 / EC)

EMI EN 61000-6-4

EMS EN 61000-6-2

低電圧指令 (2006 / 95 / EC)

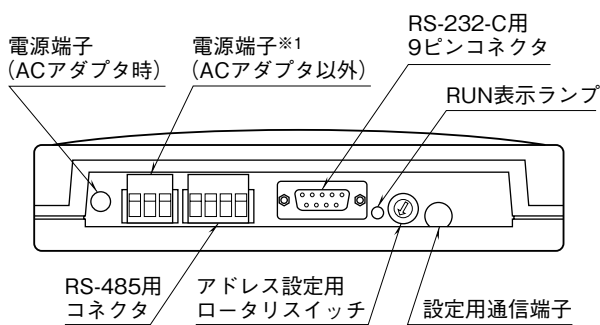
EN61010-1

設置カテゴリ II、汚染度 2、最高使用電圧 300 V

入力 - RS-232-C · RS-485 - 電源間 強化絶縁

入力 - RS-232-C · RS-485 間 基本絶縁

背面パネル図



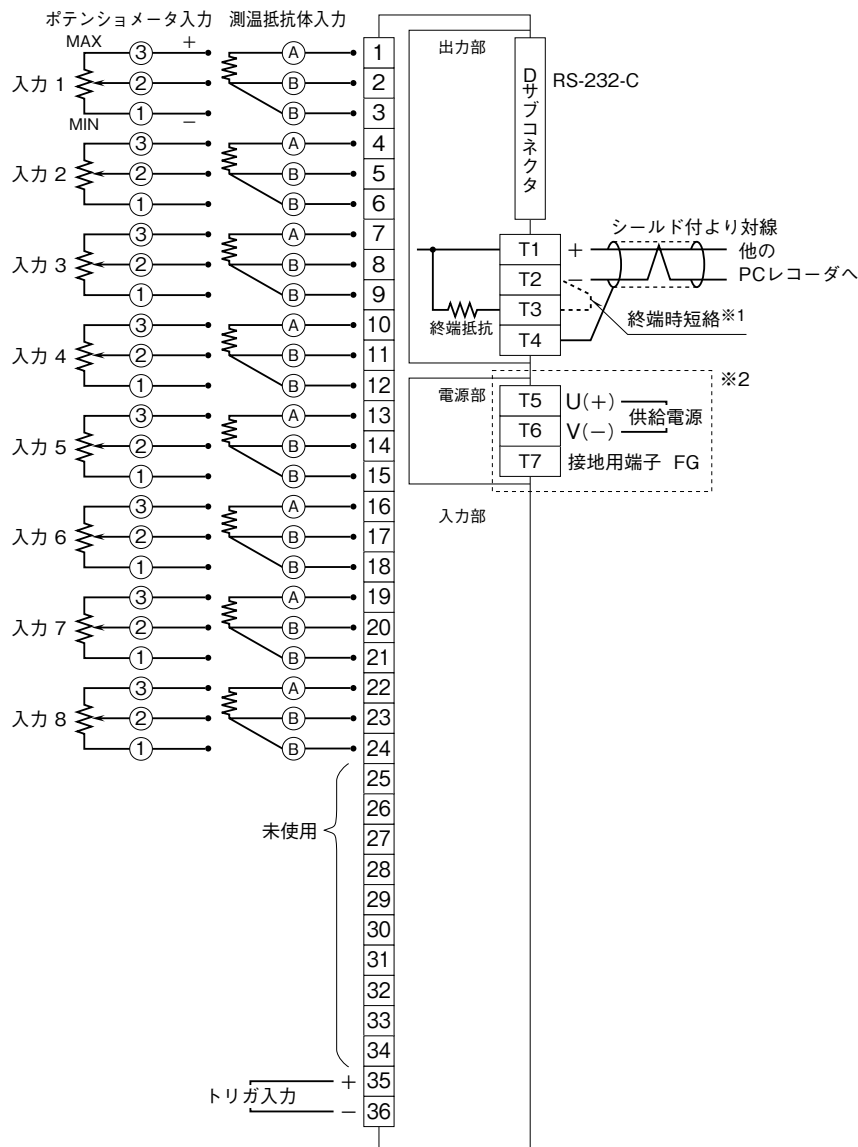
※1、BR2電源 (ACアダプタ付) 時は付きません。

■ RS-232-C インタフェース



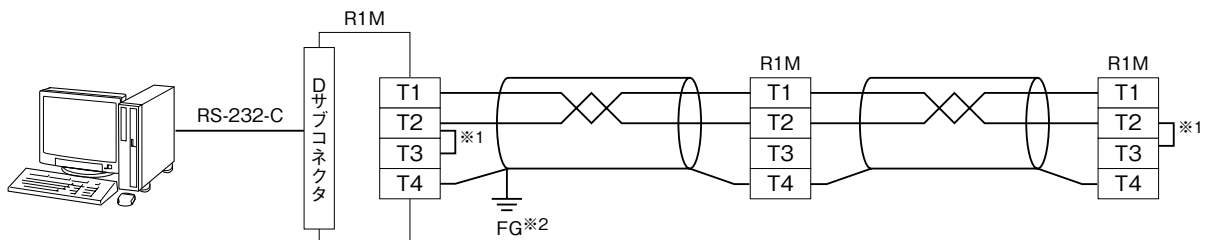
略号	ピン番号	機能	説明
SD	2	送信データ	本器から送られるデータ信号
RD	3	受信データ	本器に送られるデータ信号
SG	5	信号用アース	信号用アース
CS	7	送信可	本器へのデータ送信許可
RS	8	送信要求	送信要求の信号
	1	接続不可	信号の中継など、他の用途に使用しないで下さい。
	4		
	6		
	9		

端子接続図



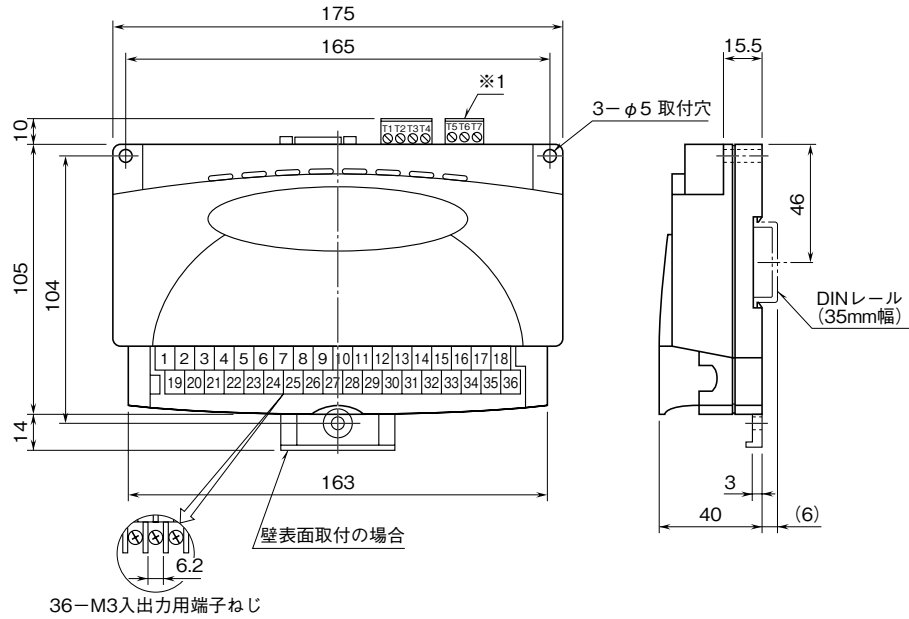
- ※1、より対線の伝送ラインが終端の場合は(=渡り配線がない場合)、端子T2、T3間に付属のショートチップ(または配線)で短絡して下さい。ユニットが伝送ラインの途中に配線されているときは、端子T2、T3間のショートチップをはずして下さい。
- ※2、BR2電源(ACアダプタ付)時は、ジャックが付きます。
- 注1、本器は入力信号に含まれるノイズを減衰させる機能を持ちません。従って、シールド付より対線を使用するなど、入力信号にノイズが混入しないように十分ご注意ください。
- 注2、端子番号25~34には何も接続しないで下さい。誤接続は故障の原因になります。

通信ケーブルの配線

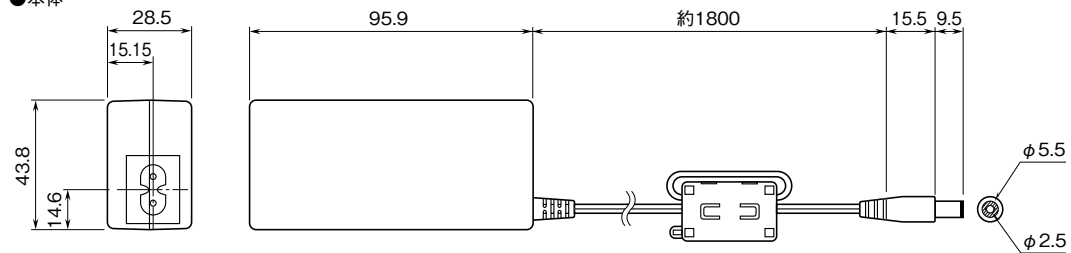


- ※1、回路の終端となる場合に、内部の終端抵抗を使用します。
- ※2、シールド線は、ノイズ保護のために全て接続し、1箇所で接地します。

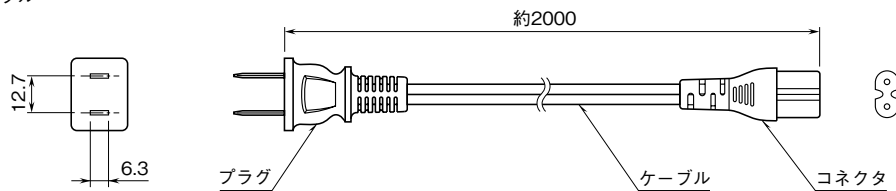
外形寸法図 (単位: mm) ・ 端子番号図



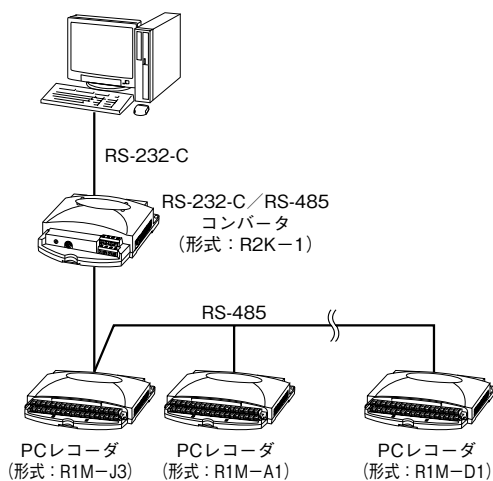
■ ACアダプタ
● 本体



● ケーブル



システム構成例 (MSR128 の場合)



RS-485の距離が長い場合はR2K-1でアイソレーションして下さい。